

第五章 『婦人之友』誌の内容分析

5-1 時代区分の設定

本章では、『婦人之友』誌がどのような内容変遷を辿ったかを明らかにするために、『婦人之友』の内容分析を行なう。

『婦人之友』は、図 3-1 (p.10) が示すように、一般的な取材・依頼記事のほかに、読者が誌面を受容し、参考にしたうえで研究・実践した結果が記事として載ることが多い。読者の中でもとくに『友の会』は、誌面内容に傾倒し、思想的にも実践的にも誌面からの影響が大きく、誌面もまた『友の会』を伴ったことで他誌にない特徴を示してきたと考えられる。

そこで、本分析における時代区分は、既に把握している『友の会』の活動の大きな区切りとなる箇所に設定した(表 5-1)。

表 5-1 時代区分の設定

| No. | 期間(西暦) | 時代区分の名称 | 概要 |
|-----|-----------|---------|-----------------------------|
| | 1903-1926 | 友の会以前 | 友の会成立以前 |
| | 1927-1941 | 萌芽期 | 友の会成立直後の時代 |
| | 1942-1945 | 戦中 | 第2次世界大戦に起因する非常体制時代 |
| | 1946-1956 | 隆盛前期 | 高度経済成長とともに順調に成長する時代 |
| | 1957-1972 | 隆盛後期 | 創立者・羽仁もと子死去直後の時代 |
| | 1973-1982 | 転換前期 | 環境問題に取り組み始めた直後の時代 |
| | 1983-2005 | 転換後期 | 「バングラディッシュとの台所交流」が始まった直後の時代 |

「友の会以前」は、文字通り『友の会』成立以前を指す。正式な『友の会』の成立は1930年であるが、既に1927年から各地に『友の会』が活動し始めていたことから、その前年の1926年までとした。

「萌芽期」は、『友の会』成立による萌芽的時期である。

「戦中」は、太平洋戦争による非常期で、人数制限や大会中止等、通常通りの友の会全国大会が開催できなかった時期である。

「隆盛期」のうち「前期」は、戦後から創立者の羽仁もと子が亡くなる前年までである。

「後期」は、羽仁もと子が亡くなった年から『友の会』が環境問題に本格的に取り組みだした1973年の前年までである。

その翌年から環境問題へという新しい取り組みが加わったため、「転換前期」と名づけた。「後期」は、「バングラディッシュとの台所交流」という海外との交流活動が始まった1983年を起点とし、最終年は2005年とした。

以下、『婦人之友』誌の内容分析により、これらの時代の誌面の特徴を把握する。2 節で量的分析とその結果、3 節で質的分析とその結果を述べ、4 節でこれらをまとめる。

5-2 『婦人之友』誌の量的分析

表 5-2 分析対象外記事一覧

5-2-1 分析対象記事の選定

本節では、『婦人之友』誌の量的変遷を分析していく。

まず、分析対象号を選択する。『婦人之友』誌においては、装丁や内容に多少の変化が加えられることがあるとすれば、それは大抵 1 月号である。つまり経年変化をみるには、1 年 1 冊のサンプル抽出で充分と考えられる。そこで、1903（明治 36）年から 2005（平成 17）年発行の『家庭之友』および『婦人之友』のうち、10 月号の 103 冊を分析対象とした¹⁾。10 月号を各年のサンプルとして選んだのは、その内容において、季節的な影響が最も少ないと考えたからである。例えば 1 月号や 4 月号は年や年度始めの特集が組まれることが多いし、8 月号は戦争や平和に関する特集が、12 月号は家計簿特集が組まれるなど一般的でない。

該当誌掲載記事のうち、分析対象にしたのは、「主たる構成が文章である記事」である。つまり、口絵やグラビアで示されるものが主たる情報で、文章がない、あるいは少ない記事は分析対象から除いた。さらに、毎号ほぼ同じ体裁で載る巻末の通信欄、映画や本の紹介記事など定例の記事、子ども向けの読み物も除いた。

分析対象外記事を表 5-2 に示す。

| 分析対象外記事 | 説明と実際に使われたタイトル |
|--|----------------------------------|
| 口絵、グラビア | 主に巻頭と巻中に載る |
| 読者欄 | 「おとずれ」、「読者の手紙」等 |
| 文芸欄 | 俳句、短歌、詩の投稿。「生活歌集」、「生活句集」等 |
| 友の会の近況 | 全国の『友の会』の活動報告。「友の会だより」、「友の会ニュース」 |
| 自由学園の近況 | 「南沢だより」、「学園・昨日今日」 |
| 読み物 | 小説、詩等 |
| 編集室後記 | 「編集室後記」 |
| 読書欄 | 推薦図書の紹介コラム |
| 映画欄 | 推薦映画の紹介コラム |
| 子ども向け記事 | 主にカラー画を伴った子ども向け読み物 |
| その他、婦人之友社や『友の会』、自由学園からの不定期の事務的情報、広報、案内、広告等 | |

5-2-2 分類項目の設定

上記によって、103 冊から 3,185 記事が抽出できた。これらを、それぞれ「内容」、「形態」、「執筆者」、「テーマ」という 4 つの項目で分類する（表 5-3）。

「内容」は、どのような内容の記事がどれくらい現れたかを分析するために設定したものである。このうち「家内」が圧倒的に多いのだが、「衣」、「食」、「住」、「家計」といった、いわゆる「生活研究」の記事は、ほぼ毎号に一定量載っていることがわかっているため、大項目はあえて分化しなかった。また、抽象的なことを述べているエッセイ等、これらのカテゴリーに当てはまらないものは、「その他」に分類する。